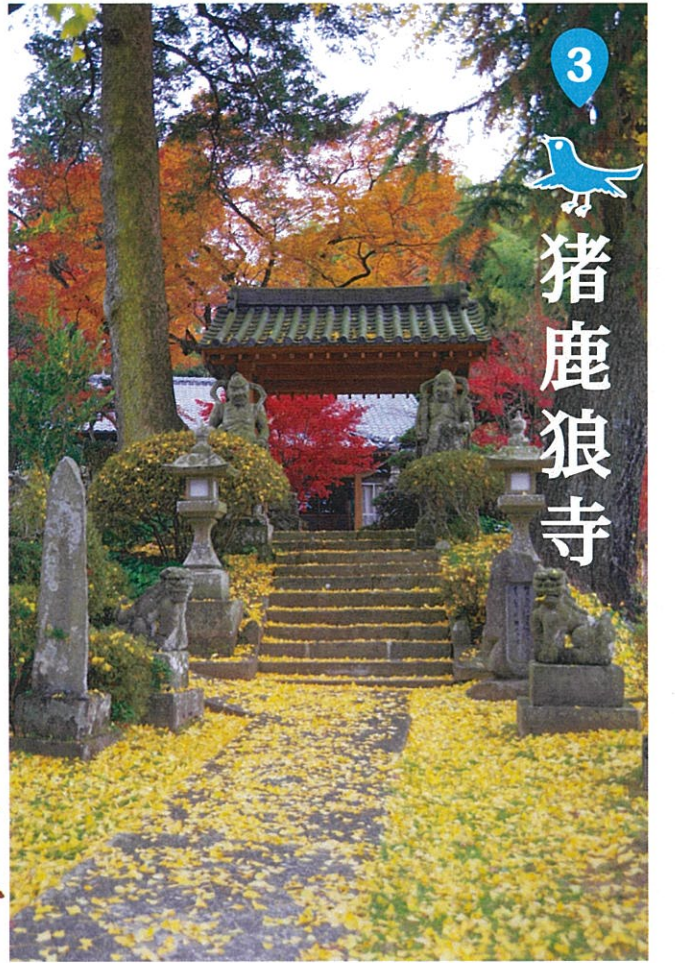


くじゅうの 登らず もみじ狩り!



3 猪鹿狼寺

竹田市久住町の細い道路の一角にたたずむ寺院、猪鹿狼寺(いからノシシ、鹿(シカ)、狼(オオカミ)な)。11月中旬、あざやかに色付いたイチョウやカエデの紅葉が、境内を彩ります。ここは、くじゅうの山々と久住高原一帯を聖域として守つてきたという、くじゅうに縁の深いお寺のひとつです。

猪鹿狼寺はもととも、現在の南登山道中腹の本堂跡にあり、古くは、大和山慈尊院と呼ばれていたそうです。鎌倉時代、富士の巻狩(まきが)り：狩場を四方から取り囲み、獣を追い立てて捕える狩り。武士が台頭した中世に、遊猟や軍事訓練の方法として盛んだったもの。(の予行演習として、久住高原で多くの猪(イノシシ)、鹿(シカ)、狼(オオカミ)などを殺したため、これらの動物の供養をこの寺で行い、「猪鹿狼寺」と改名されたといわれています(しんつく山岳会「九重山」より)。

長い間、くじゅうでは、近代のようなアウトドア的な登山ではなく、宗教登山として、お参りのために山へ登つていました。その古い登山道の多くは、くじゅうの南麓にあり、今も久住町の所どころで、その面影を見ることが出来ます。寺に植えられた木々の紅葉はとても美しく、この季節、それらの歴史的な建物の魅力を一層引き出しています。



1 泉水橋

なみハイウェイ
イと県道40号線を、
泉水山麓を巻くように結ぶ道路、
泉水グリーンロード。距離は短いですが、野焼きで守られている、飯田

高原の昔ながらの牧歌的風景を見ることが出来ます。この道路の長者原寄りにある「泉水橋」は、紅葉のポイント。奥郷(おくこう)川の谷が、深く切り立った場所に架かるこの橋からは、溪谷に残った美しい自然林の紅葉と合わせ、周囲に広がるスキ草原やくじゅうの山々、活火山であることを象徴する硫黄山の噴煙を楽しむことができます。車を安全な場所に止めて、360度に広がるくじゅうならではの秋を、ぐるっと見渡してみてください。



これもぜひ! ススキ草原
風にゆれる一面のススキ草原は、今は少なくなった日本古来の秋の風物詩。



紅葉ポイント【コハウチワカエデ】

カエデ科
高木になる木。葉は5~11裂し、形が天狗の持つうちわに似る。紅葉はオレンジ~赤色。グラデーションも多い。

紅葉ポイント【ハリギリ】

ウコギ科
高木になる木。葉に切れ込みがある。紅葉はややうすい黄色。若い枝にはすすどいトゲがあるのでハリギリという。

紅葉ポイント【コナラ】

ブナ科
高木になる。紅葉は赤っぽい褐色~黄色。紅葉したあとも、葉をなかなか落とさない。



手前のまるいドングリがクヌギ。その次がミズナラ。まん中の少し細いドングリがコナラ。くじゅうではこの3種をよく見かける。

2 筋湯温泉 瀬の本

「ぐるっとくじゅう周遊道路」をご存知ですか? くじゅう連山のふもと、広大なスキ草原や湧水、温泉などを巡ることが出来る、見どころいっぱい、全長約70キロの道路です。

その途中、筋湯温泉から小松地獄、八丁原地熱発電所を経て、瀬の本に至る道は、両側に明るい落葉広葉樹の林が広がっています。ここは、やまなみハイウェイができるはるか昔から、大分と熊本をつないできた、大切な道です。紅葉の季節には、コシアブラやウリハダカエデ、シラキの葉が、太陽の光を透かして赤や黄に輝き、ドライブには最高の場所。カーブが多いので、運転にはご注意ください。



紅葉ポイント【ウリハダカエデ】

カエデ科
高木になる木。葉は浅く3~5つに裂ける。紅葉はオレンジ~赤色。日当たりが良くないと黄色になる。

紅葉ポイント【コシアブラ】

ウコギ科
高木になる木。葉は5枚にのひらのように分かれる。クリーム色のようなあわい黄色に紅葉する。

あなたのひろったその落ち葉 何の木の葉?



紅葉ポイント【シラキ】

トウダイグサ科
小高木の木。葉先はとがり、鋸歯(きよし:切れ込み)はない。紅葉は真っ赤~オレンジ~黄色になり、グラデーションのものも多い。



くじゅうの中で最も森林が発達している場所が黒岳。山腹一帯には、ブナをはじめとするさまざまな落葉広葉樹が自生し、芽吹きや新緑、そして紅葉と、四季折々に美しい自然を楽しませてくれます。男池(おいけ)周辺は、自然散策路となつているので、気軽に散策することが出来るのもポイントのひとつです。

そんな自然豊かな森の中で、ひととき目を引くのが、男池のすぐそばにあるケヤキの大木。根は巨大な岩を包み込むように張り、幹のまわりは十メートルほどはありそうな大きな木です。ケヤキの紅葉は、明るい黄色~オレンジ色。この大木を見上げて、空いっぱいの美しい紅葉を楽しめるのもよし、紅葉を埋め尽くした地面を埋め尽くした落ち葉を踏みしめながら歩くのもまた、心地良いものです。



紅葉ポイント【ブナ】

ブナ科
高木になる木。樹皮はなめらか。紅葉は黄~オレンジ~褐色。葉のふちは波形になる。

4 男池



5 牧ノ戸峠



やまなみハイウェイの最高到達地点である牧ノ戸峠(標高1330m)は、落葉広葉樹の山肌を一望できる、絶景ポイントです。近くの展望台までは、歩いて

10分ほど。くじゅう連山の登山口でもあるため、多くの登山者を見かけますが、展望台までなら普段着でも行くことができます。休憩がてら、足を延ばして絶景を楽しんでみてはいかがでしょうか。ハイキングを楽しみたいときは、



ドングリには、豊作と凶作の年があります。9月ごろから、クヌギ、ミズナラ、コナラなどの木には、たくさんのドングリができていました! 森の中に入って耳をすますと、コンコン、コロコロとドングリが落ちる音が聞こえます!

